

経済日誌2009年7月

注)1DH(ディルハム)=約11.5円

I. モロッコ国内経済

1. 指標等

①2009年第一四半期経済成長率¹

2009年第一四半期経済成長率: 3.7%(前年同期:7.2%)

農業部門:26.8%(前年同期:16%)

非農業部門:0.6%(前年同期:6.2%)

②2008年の補助金²

モロッコ経済財政省の発表によると、石油化学製品、ブタンガス、食用油、小麦、砂糖などの生活必需品の価格上昇抑制のために充当された2008年補助金総額は335億DHと前年に比して7.2%上昇した。

③2009年上半期税収減少³

2009年上半期の税収が前年同期比マイナス12%となり約110億DHの減少。

	2008年上半期	2009年上半期	推移
税収全体	926億DH	818億DH	—12%
法人税	310億DH	267億DH	—14%
所得税	171億DH	134億DH	—22%
関税	70億DH	55億DH	—17%
付加価値税	210億DH	196億DH	—7%
その他(たばこ・酒税など)	95億DH	98億DH	—3%
不動産登記税	61億DH	55億DH	—10%

④2009年第2四半期失業率⁴

・失業率:8%(前年同期:9.1%)

¹ モロッコ高等計画委員会(Haut Commissariat au Plan)www.hcp.ma

² オジヨデュイ・ル・マロク(7月24日)

³ エコノミスト(7月28日)

⁴ エコノマップ(7月29日)

- ・都市部失業率:12.6%(前年同期:14%)
- ・農村部失業率:3%(前年同期:3.9%)

2. 建設・公共事業・インフラ等

①モロッコ高速道路公社の業績および高速道路整備状況⁵

2008年の売上高は前年比16%増の12億1000万DHと業績を伸ばした。交通量が前年に比べて12.7%増加したことに加え、セタットーマラケッシュ間(2007年)、タンジェ地域の Tanger port/Tanger Med/M' diq-Fnideq 間(2008年)の高速道路が整備され利用客が増加したことによる。2008年の高速道路建設投資額は44億DHで、全長は現在のところ2009年1月に開通したマラケッシュー国道RN8間の50kmを含めると916km。

今後は2008年から2015年にかけて360億DHを投資し、2015年には高速道路全長1800kmに達する見込み。マラケッシューアガディール間工事は60%終了し2010年に開通予定。またフェズーウジダ間工事も順調で2011年に開通予定。

また、7月8月は在外モロッコ人の帰省ラッシュで約70万台の自動車为国境を越えると見られており、交通量は月平均26~45%の増加が予想されている。

②Nador – Taourit間鉄道開通⁶

タンジェ地中海港に引き続き地中海側の開発都市として注目されているNadorとTaourit間の鉄道が開通(全長110キロメートル、7駅:Béni Ensar, Nador ville, Nador sud, Selouane, Hassi Berkane, Ouled Rahou, Melg El Ouidane)。Taourit 方面からフェズ、ラバト、またウジダへ乗り継ぎが可能。同鉄道開通によりオリエンタル地方の農業及び鉱業の発展が期待されている。

③Nador West Medエネルギー関連の港湾プラットフォーム整備計画⁷

タンジェ地中海港に続き、NadorWestMed 港の開発が計画されている。Nador から東30キロメートルに位置するBetoya湾に総面積3850ヘクタール級の港湾建設が予定されており、エネルギー(炭化水素、石油)ストックおよび再輸出を主体とし、商工業分野のフリーゾーン850ヘクタールの整備も図る。地中海側でのエネルギー関連港を保有することでモロッコ国内向けのエネルギーをストックするだけでなく他国への輸出用のエネルギーストック拠点の構築を目指す。同港湾整備にあたって特別庁を設置する予定。工事は2010年に開始し2015年にフェーズ1工事は終了。工事全体は2020年から2025年に終了見込み。

⁵ モロッコ高速道路公社ホームページ www.adm.co.ma

⁶ モロッコ鉄道公社(ONCF 発表7月1日)、エコノミスト(7月15日)

⁷ エコノミスト(7月7日)オリエンタル地方サイト www.oriental.ma

④住宅公社Al Omraneグループの投資計画⁸

住宅公社 Al Omrane グループの投資額は年々増加傾向にあり、2006年66.1億DH, 2007年72.2億DH, 2009年は85億DH。

同公社の優先事項は社会住宅建設で2008年から2012年の5年間で低所得者向け住宅(14万DH)を13万戸建設する予定。2008年は22600戸を建設し(うち12000戸は民間企業と提携)、2009年は33300戸の建設(うち22200戸は民間企業と提携)を予定している。

⑤タンジェ地中海港ISO9001取得⁹

タンジェ地中海港ISO9001 (Version 2000)を取得。開港から2年が経過したが、コンテナ受け入れ港として、国際基準をクリアした。同証明書の取得と同時に環境保護のISO14001証明書の取得を申請。

⑥ジョーフラスファー工業地帯¹⁰

政府と CDG developpement の子会社 MedZ との間で Jorf Lasfer 工業地帯の稼働開始に向けて連携していくことで合意。同工業地帯の面積は505ヘクタールで化学、エネルギー、鉄鉱などの重工業に向けられ、すでに Sonacid 社(モロッコ製鉄)の工場がある。

地理的にはマラケッシュ、アガディール、カサブランカの間地点に位置し、ジョーフラスファー港(主に燐鉱石出荷)に近く、またカサブランカといった優秀な人材が集まる都市からも近く立地条件も整っている。

3. 産業・エネルギー

①Sonacid社の生産能力強化計画¹¹

モロッコ製鉄業 Sonacid 社がジョーフラスファー工場を20ヘクタール拡張。現在の年間製鉄生産量45万トンと2年後の2011年には80万トンへ増加させる。

②モロッコ・ドイツ投資グループが風力発電に投資¹²

Altus et A.M Wind 投資グループ(モロッコとドイツ系)による32のプロジェクトが Oued Eddahab - Lagouira 地方投資委員会に承認された。分野別ではエネルギー関連(8)、観光(10)、農産加

⁸ エコノミスト(7月8日)、Al Omrane 住宅公社ホームページ www.alomrane.ma コミュニケ(7月7日)、経済日誌2008年12月。

⁹ エコノマップ(7月20日)

¹⁰ エコノミスト(7月22日)

¹¹ エコノミスト(7月3日)

¹² エコノマップ(7月16日)

工(7)サービス(6)、商業(1)。投資総額は170億DHで、総額の96%がエネルギー関連に充当される。

そのうちの大規模プロジェクトは風力発電で、Dakhla 北方 Ntireft に投資総額150億DH以上をかけて672MWの風力発電所2基の建設を予定。面積は15000ヘクタール。なお、同地方の風力発電にはスペイン系グループも7億5300万DHを投資し、敷地面積900ヘクタールに50MWの風力発電所建設を予定している。

③デザーテック計画(Desertec)サウジアラビアからモロッコまでの太陽熱発電計画¹³

中東諸国から北アフリカまで、サウジアラビアからモロッコまでのサハラ砂漠などに広大な太陽熱発電施設を設置。風力・水力発電などを加え、2050年までに欧州の電力需要の15%を目指すという大規模プロジェクト。太陽光発電に比べて、集光型太陽熱発電はエネルギーが貯蔵でき、夜間や曇りでも安定した電力源を確保できる。1000kmを3%以下の漏電で送電可能な高電圧の送電網を設置し、地底・海底ケーブルで電力を供給する。ドイツの大手企業(シーメンス、ドイツ銀行、ミュンヘン再保険、ドイツ電力会社RWEなど)が中心となった12の欧州企業が本プロジェクトに合意した。総工費は4000億ユーロ。また、太陽熱を利用した海水淡水化も計画されている。パイロットプロジェクトはエジプトからガザ地区へ送電。

4. その他

①最低労働賃金の上昇(7月1日より実施)¹⁴

産業・商業・自由業関係者の時給が2009年7月1日5%上昇、繊維・衣料関係は2.5%上昇。(2008年7月1日もそれぞれ5%、2.5%上昇。)

産業・商業・自由業の時給:10.14DH→10.64DH(5%の上昇)

繊維・衣料関係の時給:9.9DH→10.14DH(2.5%の上昇)

農業関係従事者の日給:55.2DH→55.12DH(5%の上昇)

繊維・衣料関係は4年間、年2.5%上昇。(2009年7月1日:9.9DH, 2009年7月1日:10.14DH, 2010年7月1日:10.39DH, 2011年7月1日:10.64DH)

②モロッコテレコムがマリ電信電話会社Sotelma社の株51%を取得¹⁵

モロッコテレコムは、マリ電信電話会社 Sotelma 社の株51%取得を巡り、2億5200万ユーロを示していたが、正式に決定した。今後はモロッコテレコムのマリ進出を機にモロッコとマリ間の経済交流の発展とマリでのインターネットなど通信インフラの改善が期待されている。

¹³ エコノミスト(7月17日)、デザーテック基金ホームページ、www.desertec.com

¹⁴ エコノミスト(6月30日)

¹⁵ エコノマップ(7月9日)

③モロッコの平均世帯収入¹⁶

モロッコ高等計画委員会によるモロッコの平均世帯収入の調査が2005年から2008年の4年をかけて7200世帯を対象に行われた。

モロッコの平均世帯収入:5308DH
都市部:6124DH(農村部の1.5倍)
農村部:3954DH

④環境保護:大気汚染コントロールシステムの構築¹⁷

Qualit' Air プログラムと称した都市における大気汚染コントロールシステムを2012年までに構築することが検討されている。19カ所の大気汚染監視ステーションがラバト、カサブランカ、マラケッシュなど都市部に置かれる。大気汚染地図情報の構築も検討中。他の大気汚染対策に関しては軽油50ppmの販売が挙げられる。

⑤2008年国民社会保険(CNSS: Caisse Nationale de la sécurité sociale)加入者数¹⁸

2008年の法人社会保険加入数: 110,095社(前年105,070社)
2008年の社会保険加入人数: 204万人(前年比7.4%増)

⑥日本人が持続的都市・建設設計の世界コンクール第1位、2位を獲得¹⁹

ホルシム基金(Holcim Foundation)によって行われた持続的都市・建設設計の世界コンクール授賞式がフェズで行われた。同コンクールは、スイスに本社を置く世界的セメント会社 Holcim が設立した基金が3年に1度開催しているもので、革新的かつ持続可能な都市・建設設計プロジェクトに賞が贈られる。世界5地域での入賞者(またはグループ)各3組の計15組の中から、総合優勝から第3位までが選ばれた。

1位に、日本人とモロッコ人のチームによる、フェズの川の再開発を中心とする都市再開発計画が、2位に日本人チームによる、ベトナムでのプロジェクト(環境に配慮したキャンパス建設計画)が選ばれた。

⑦UNDPの「2009年アラブ人間開発報告書」²⁰

2009年アラブ人間開発報告書(Arab Human Development Report 2009)が発表された。(同報告書はPDFで入手可能。www.arab-hdr.org)

¹⁶ エコノミスト(7月1日)

¹⁷ アラブマグレブ通信(MAP: Maghreb Arab Press)

¹⁸ エコノマップ(7月20日)

¹⁹ エコノマップ(7月20日)

²⁰ エコノミスト(7月27日)、www.arab-hdr.org

2002年から毎年発行されているもので、2009年号は「人間の安全保障」に焦点が当てられている。アラブ諸国の安全保障と言え、人間の安全保障よりも、国家の安全保障について語られることが多かった。アラブ諸国に住む国民にとっての懸念材料は何かを分析した報告書である。

クウェート、パレスチナ、レバノンでは政治・経済情勢が懸念材料のトップであるが、モロッコ国民の懸念材料は健康(15%)、貧困(12%)、失業(12%)、交通事故(7%)がトップであった。

⑧2008年消費者金融²¹

自動車、家電などのローン、個人融資、リボルビング融資などを含めた貸し付け額が増加。

2008年融資総額は361億DHと前年に比して17.7%増加。

一回の平均融資額も27,000DHへと前年の24,400DHから増加している。自動車用ローン貸付額は平均で72,700DHと前年の67,000DHから増加。個人融資額も23,500DHと前年の21,300DHから増加している。

⑨在外モロッコ人のための投資基金設立²²

「MDM Invest」と称する在外モロッコ人によるモロッコに対する投資を活性化させるための投資基金が設立された。政府、CCG(Caisse Centrale de Garantie)と金融機関との間で合意。在外モロッコ人がモロッコに投資する場合には、投資総額のうち国が10%、銀行が65%融資、在外モロッコ人は25%を負担することになる。

²¹ オジヨデュイル・マロク(7月28日)

²² エコノマップ(7月16日)

II. 諸外国等との関係

1. 外国政府との関係

①モロッコ-チリ間漁業関連協力(於:アガディール)²³

地理情報システム、養殖開発、水産加工品の付加価値の付与、沿海漁業の近代化などの分野において情報共有していくことで合意。

②モロッコ-韓国協力強化で合意(於:ラバト)²⁴

アフメド・トゥフィク・フジラ住宅・都市計画・国土整備大臣はラバトで韓国の代表団と会談。韓国は自動車産業人材育成の分野で協力することで合意。具体的にはカサブランカ自動車産業職業訓練所の設立及び運営開始に協力し、同訓練所を2012年の外交樹立50周年記念の協力シンボルにすることで合意した。会談にはモロッコ自動車協会AMICA(Association marocaine de l'industrie et du commerce de l'automobile)会長も出席。

③モロッコ-ガボン運輸大臣会談(於:ラバト)²⁵

モロッコとガボンは主に二国間航空網の発展で合意。航空網、道路交通の安全対策に向けて、モロッコからガボンへ専門家を派遣、またガボンからモロッコへ訓練生を派遣することなど人材育成の面でも合意した。

④モロッコ-アイルランド間農業分野協力(於:デュブリン)²⁶

農業における衛生管理について情報共有することで合意。また、モロッコの牛乳品質改良に向けて、アイルランド産の雌牛の輸入についても協議された。

⑤第5回模倣品・海賊版拡散防止条約(ACTA)交渉の関係国会合の開催(於:ラバト)²⁷

模倣品・海賊版拡散防止条約締結に向けての交渉が16日～17日ラバトにおいて開催された。参加国はモロッコ、オーストラリア、カナダ、欧州連合、欧州連合各国、日本、韓国、メキシコ、ニュージーランド、シンガポール、スイス、米国。2010年に最終合意を得ることで一致、次回会合は2009年11月に韓国で開催予定。

²³ エコノマップ(7月3日)

²⁴ エコノマップ(7月20日)

²⁵ エコノマップ(7月20日)

²⁶ エコノマップ(7月27日)

²⁷ エコノマップ(7月22日)

2. 外国企業との関係

①ルノータンジェ工場建設²⁸

ルノーグループ幹部がモロッコを訪問しタンジェ工場操業に関する最終調整を実施。

2012年の1月から生産開始予定で、第一段階として年間17万台、1時間30台の生産キャパシティで稼働する。Logan 車生産プラットフォームを基礎に2種を生産。40万台生産可能な工場拡張建設はそれから2年後(2014年)になる見込みで、地中海地域において最大規模の自動車生産工場になる。工場敷地の基礎土木工事は2008年の秋に開始しており、3分の2が終了。工場自体の建設は2009年の9月に開始予定。雇用に関しては、ルノーの直接雇用人数4000人、ルノー工場周辺に進出する下請け会社雇用人数(間接雇用)24000人になる見込み。

本計画に対し、モロッコCDGグループの100%子会社 Fipar-Holding が47.6%の資本参加を実施するパートナーシップに署名。総工費は6億ユーロ。

3. 経済協力

①フランス開発庁(AFD: Agence française de développement)の借款²⁹

借款総額:1億5500万ユーロ

教育システム改革のサポート:5000万ユーロ

地方道路プログラム:6000万ユーロ

ラバトーサレ間トラムウェイ敷設:4500万ユーロ

②ヨーロッパ投資銀行(BEI: La Banque Européenne d'investissement)の借款³⁰

教育分野緊急プログラム(2009-2012)に2億ユーロの借款が決定。モロッコは学校近代化、6-15歳の就学率の向上に向けて2009-2012年4年間で31億ユーロを投資する予定。そのうちの26億ユーロはモロッコ政府が充当する。同プログラム実現に向けてヨーロッパ委員会、フランス開発庁、アフリカ開発銀行なども借款に合意。今回のBEIによる借款は総借款額の40%をカバー。

③韓国国際協力機構(KOICA: Korean International Cooperation Agency)による無償援助³¹

Centre National des Innovations Pedagogiques et des Expérimentations (CNIPE) とKOICAが協力協定を締結。同センター用機材購入に300万ドルを無償援助。

²⁸ ル・マタン(7月22日)、エコノミスト(7月29日)

²⁹ エコノマップ(7月7日)

³⁰ ヨーロッパ投資銀行発表(7月7日)

³¹ エコノマップ(7月6日)